

## 1・2 年生へ 夢かなえる道の途中、今直ちにやるべきことは？

1・2 年生は 3 月 19 日 (水) の午前中に「進路の日」と称し、「卒業生による大学合格発表会」・「1 年生対象学生図鑑オープンキャンパス」・「2 年生対象の大学入試説明会」が開催されました。裏面にそれぞれの行事の様子を載せています。先輩方の熱い思いを聞き、実際の大学生の方と接してみて、受験に対するモチベーションアップに繋がったことでしょうか！！

夢をかなえるために今からやるべきことは、いろんな場面で言われている一見、当たり前のことです。何度も聞いた言葉です。ぜひ聞くだけではなく、行動に移してみましょう！！

### ① 基礎力を培おう

- ・学校の授業・教科書が中心！必要なら前年度の学年に戻って復習すること。基礎力の充実→大学入試の試験範囲は幅広い→**早め早めの対策が必要**

### ② 継続力

- ・春季休業中、夏季の長期休暇を活用して繰り返し行うこと。応用問題に挑戦し、できなければ何度も基本に戻ることに。

### ③ 学校の授業 1 時間 1 時間を大切に

- ・授業をいい加減にして、自分勝手な学習に走るの是最も危険。
- ・予習を必ず行う理由は、事前にわからないところ、質問したいところをはっきり明確にするため
- ・復習の目的は、授業で分かったところが本当に理解できているか確認するため。→なんとなく分かった気になっている。

### ④ 苦手科目を作らない→苦手科目から逃げない・苦手科目と思込まない。

### ⑤ 分からない点は残さない→さあ、この春休みがチャンスだ！！

### ⑥ 規則正しい生活、計画的学習をする→1 日の中でいかに勉強時間を作り出すか

### ⑦ 中間・期末テスト・模試で日々の学習が身についているか確認→自分の今の力を客観的にみる

### ⑧ 正確な入試情報を得ることが大切→入試情報は、毎年更新される。自分の行きたい大学について、インターネットで調べる、実際に足を運んでみる。

これだけは伝えたい①

大学入試は高校の**授業**が全て

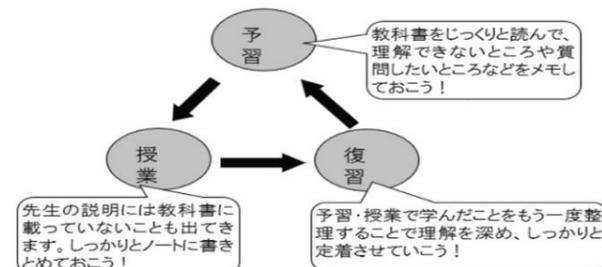
入試問題は、どこから出題されるか？

授業・教科書から出題される可能性

共通テスト	100%
国公立大個別学力検査	80%以上
私立大	90%以上

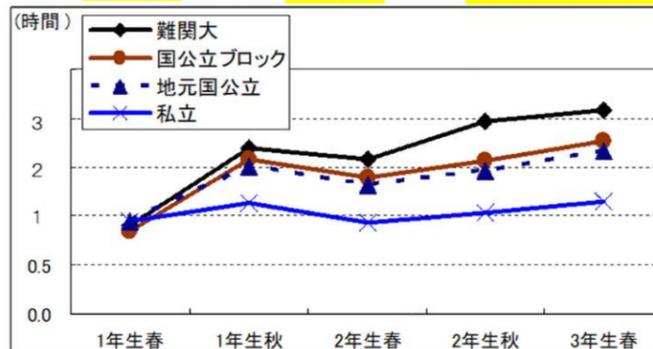
入試問題の出題構成

基礎問題	50~60%
応用問題	30~40%
難問	20%以下



これだけは伝えたい②

学習の成果 = (量) × (質) × 集中力



これだけは伝えたい③

**定期考査** を活用して！

テストを徹底的に利用 → ○より×の問題に注目！

テストとは、授業の最重要点を整理したもの。テスト問題をまとめて綴じるだけで1冊の問題集になる。×のついた問題を再学習し、○に変えることで学力がつく。

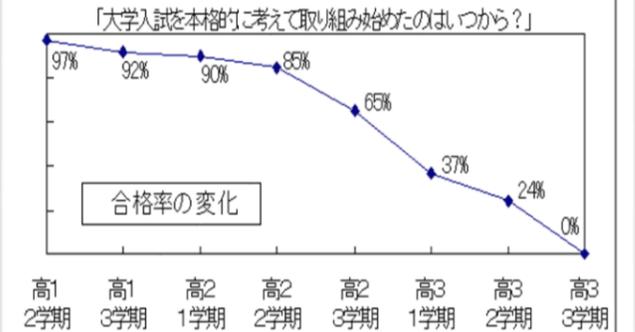
これだけは伝えたい④

( **苦手** ) 科目で合否が決まる

不合格の理由		
1位	苦手科目が克服できなかった	76%
2位	日によって勉強時間がまちまちだった	60%
3位	ながら勉強で集中力が足りなかった	49%
4位	高校の教科書を軽視し塾や参考書に頼った	46%
4位	「何とかかな」と思ってスタートが遅れた	46%
6位	高校1、2年の時に怠けた	43%
6位	自分の勉強スタイルが身につかなかった	43%
8位	目標を決めるのが遅く、スタートが遅れた	41%
9位	一番行きたい大学が決まらなかった	35%
10位	一日の勉強時間が足りなかった	32%

これだけは伝えたい⑤

**1日でも早く** 受験生になる



## 有終の美を飾る 探究発表会について

「総合的な探究の時間」の1年間の集大成である探究発表会が行われました。1 学年は「研究計画書」、2 学年は「探究論文」を作成してポスターおよび口頭で発表し、その学習の成果を共有して学びの場とする進路行事です。1・2 限は各学年のフロアで全員がポスター発表を行い、3・4 限は体育館に移動して、2 学年の各クラス代表者 8 名のパワーポイントによる口頭発表を行いました。発表者と、欠席者がした場合の代理 (司会) の 11 名の代表の皆さんは、学年末考査後からリハーサルを含めて、一生懸命準備をしてくれました。口頭発表では早稲田大学の根津朋実先生の質疑やご講演もあり、1・2 学年の生徒の皆さんからも質疑を募りました。1 学年の皆さんは来年度のゴールをイメージできたと思いますので、2 学年の取り組みを各自進めていってください。

【代表者および探究論文テーマ】(代表者名は HP に掲載のため、イニシャル姓名の順で表記します)

- 2 年 1 組 : N・T さん「日暮里・舎人ライナーを赤字から救う方法～赤字から黒字へ 魅力ある路線～」
- 2 年 2 組 : K・K さん「身近な廃棄プラスチックの現状調査と解決案～地球の自然と人間の健康～」
- 2 年 3 組 : M・M さん「お笑いにも流行周期はあるのか」
- 2 年 4 組 : S・S さん「なぜ日本はキャッシュレス化が進まないのか」
- 2 年 5 組 : K・H さん「出生前診断に対する考察～出生前診断の結果を受けての中絶を考える～」
- 2 年 6 組 : K・M さん「人気絵本の共通点と時代による変化～本好きの子どもを増やすために」
- 2 年 7 組 : T・H さん「既存の枠にとらわれない短歌の魅力とは？」
- 2 年 8 組 : E・M さん「児童養護施設について～退所者の自立と入居者を減らす方法～」

【代理 (司会)】

- 2 年 3 組 : N・T さん「サイクリングロードを提案する～全国のサイクリングロードを調査して～」
- 2 年 6 組 : W・R さん「郷土料理の今後～郷土料理が残るための条件とは～」
- 2 年 7 組 : S・Y さん「過度な紫外線対策とビタミン D 生成」



2 年生代表生徒プレゼンの様子



各教室・廊下でのポスターセッション

## 合格体験報告会・学生図鑑・大学入試説明会

1・2年生対象「合格体験発表会」が行われました。突然の雪もものともせず、卒業生（77期生）が後輩たちのために駆けつけてくれました。3年間どのように勉強してきたか、志望校はどのようにして決めたのかなどを熱く語っていました。2年生に向けては6分程度の時間を使い、6名の先輩たちが受験を戦い抜いたスピーチを行いました。自分の体験が少しでも役に立てば良いと考え、発表しやすいよう原稿を事前に準備して臨んでくれました。1年生向けには、司会の質問に答えるという発表形式で行いました。



### 【合格体験発表者名・進学予定大学名】

Y・Kさん（お茶の水女子大学生活科学部食物栄養学科） S・Sさん（東北大学薬学部）  
K・Hくん（東京学芸大学教育学部学校教育教員養成課程A類初等教育専攻） N・Sさん（東北大学法学部）  
N・Tさん（慶応義塾大学看護医療学部看護学科） M・Wさん（東京外国語大学言語文化学部スペイン語学科）

### 【合格体験発表を聞いて 在校生の感想】

- ・いかに春休みを有効に使えるかが大事だなと思った。英検の勉強や情報、数学のわからないところを春休みに片付けようと思った。
- ・実際に受験を経験した人たちの話を聞いて自分のやるべきことが明確になった。
- ・6名それぞれの学習環境や勉強法があったが第一志望の大学に合格したいという強い意志とそれに伴う努力があれば大丈夫なのだなと思った。勉強するモチベーションが上がった。
- ・平日も休日も全員勉強時間が長くて、まずは勉強を習慣化しなければいけないのだと思いました。
- ・勉強、部活、遊び、全部楽しめるように限られた時間を使おうと思った。すごい先輩達ばかりだったけど、自分も少しでも近づけるように、人前で堂々と自分の話ができるような進路に進めるようこれからを過ごしていきたい。
- ・具体的なアドバイスをいただけたので早速取り入れたい。特に自習室の活用や、週ごとにノルマを管理する息抜きの仕方は参考になった。

### 【2年生対象 大学入試説明会】

今後の進路選択の参考とするため、以下の大学から講師を招き、各大学の教育内容や入試制度について理解を深めた。第一志望届の提出に向けて、各大学のブースでは熱心に質問する生徒もみられました。



### 【1年生対象 学生図鑑オープンキャンパス】

様々な学生のワークショップ（ゼミ、研究、サークル、学生ライブ）等について話を聞いたり体験したりすることで、高校生が大学生活をイメージできるきっかけを作る場です。体育館で車座になり、気軽に興味がある話や大学生によるリアルな話を聞いて、夢が膨らむ1年生。最後には皆でダンスをして盛り上がりました。

### 【国公立大学】参加大学

千葉大学・電気通信大学・埼玉県立大学・茨城大学  
東京外国語大学・筑波大学・お茶の水女子大学

### 【私立大学】

上智大学・学習院大学・明治大学・立教大学  
中央大学・法政大学・成蹊大学・成城大学・武蔵大学  
國學院大学・獨協大学・駒澤大学・東洋大学・日本大学  
文教大学・芝浦工業大学・千葉工業大学・東京都市大学  
日本赤十字看護大学・北里大学・東邦大学・武蔵野美術大学・共立女子大学  
共立女子短期大学・日本女子大学  
多摩美術大学・東京家政大学・星薬科大学



## 77期生 ～受験を振り返って～ 先輩からのアドバイス

### 春休みにやっておきたいこと

2年生に向けては、この春休みに必ずやって欲しいことは、2年生の総復習です。英検の勉強もして、長時間コンスタントに勉強する習慣をつけてください。

志望校の決め方については、自分の中でこれだけは絶対譲れないというものを3つほど決めておくと考えやすいと思います。私は、「総合大学であること」「留学制度の充実」「自然のある環境」で決めました。学部については元々は経済学部や文学部などにも興味があった。履修の自由度が高く、自分に合った入試形態が選べることから法学部を選んだ。

### 志望校の決め方・スマホとの付き合い方

志望校はレベルのみで考えるのではなく、本気で行きたいと思えるところのこと。モチベーションにも関わる。また、大学では1コマ90分～100分です。まったく興味がない学問では苦行でしかありません。スマホとの付き合い方ですが、必要のないアプリは消したものの完全にスマホを遮断するのは無理でした。スマホで音楽を聴きながら勉強もしていました。逆に電車の中で英単語アプリ、スタサブを見たりしていました。おすすめアプリは古文・漢文、Quizlet、情報Iなどです。

### 平日の勉強の仕方

テスト直前に焦って勉強するのも嫌だったので、すべての勉強をなるべく学校にいる時に済ませようということ強く意識していました。具体的に言うと暗記科目であれば授業内に先生が言ったことをなるべく書き起こして覚えようと思いました。そうでない数学などの科目に関してはスキマ時間などで復習として少しずつ課題を進めました。それでもやはりこのような勉強方法ではあまり身に付かず、教科によって限界があるので苦手な科目では低い点数を取ることは多々ありました。ですので、受験期のことを考えると少しずついいから一日一日のノルマを決めて勉強習慣をつけていくことを強くおすすめします。

### 学部の選び方

海外に住んでいた経験があって、帰国してから文化の違いに興味を持つようになり、同じ言語で話しているはずなのに微妙なニュアンスの違いが私と同級生の間で感じる事が多くあった。その興味関心からもっというろんな人との違いを知りたいという思いから外国語学部に進学しようと思った。実際今になってようやくはっきり理由が言えるようになったのであって、進路を考える当初は本当にぼんやりとした興味からそれを選んだのかもしれない。でも進路を考える上でまだはっきりした目標がなくとも一度少しでも興味のあるものに触れてみる事がとても大切だと思います。

### 部活との両立について

私はどちらかと言うと有志との両立が難しかったです。2年の運動会から文化祭有志への切り替えの時は特に印象に残っています。勉強、部活、有志、そして委員会の仕事などが積み重なって手も足もでない状態でした。そこで両立する方法として優先順位を決めてタスクを捌くことにしました。自分が「いつ」「何を」行うべきかの切り替えをスムーズに行うため、スケジュールを明確にするため手帳とスマホを活用して乗り越えました。一日にできることは限られているので、スキマ時間も効果的に活用しました。

### 苦手科目の克服方法

苦手科目を放置すると受験本番で痛手をこうむることもあります。得意科目でカバーしようとしても限界があります。私は、数学がどうしても苦手でした。原因は基本が抜けていることです。過去の模試を取り出して、解き直しをしていると自分の弱点に気付くことができます。授業では、とにかく予習を丁寧にやりました。公式や解き方を1つ1つ確認してパターンを掴んで目標点に近づきました。いきなり応用問題に取り組むのではなく、基礎をしっかり固めることが大切です。苦手科目ばかり勉強しているとモチベーションが下がってきます。僕は、得意科目とセットで勉強しました。例えば英語の長文を1つ読んだら、数学の問題を3問解く、といった感じです。